その汽車に乗って

ノリトミシ

その汽車に乗って旅に出てみたい。

たとへ旅立ちの朝、見送る者がなくとも

の中に存在するその汽車に乗って旅に出てみたい。

どこへ？　広い場所へ

海……。

涙の乾く太平洋側か、それのにじむ日本海

若いと言う年ではない死ぬには早いと思うが

〔日経広告研究所原稿用紙〕

20×10

今迄歩いて来た疲れのとれる、行き着く事が出
来なく観る事しか出来ない。それでも良い。
確実な場所に訪ってみたい

20×10

〔日経広告研究所原稿用紙〕

戯れ事

橋の上から池を見た。

魚がたくさん集って口をパクパクさせている。

去れと言っているのか。もっと集れと言っているのか。

池(行け)の鯉(来い)。

〔日経広告研究所原稿用紙〕

講評（星野）

幻想の汽車、ぼくも乗ってみたいです。ずっと乗り続けて、帰ることもなく。その列車に乗るのは、幻想の自分かもしれませんね。幻想の自分が、幻想の汽車に乗って海へ行く小説を書いてみてはいかがでしょうか。ノリトさんにとっての広くて確実な場所がどんなところなのか、読んでみたいです。